

令和 7 年 1 月

宮城県内山岳遭難統計

【過去 5 年分（令和 2 年～令和 6 年）】

宮城県警察本部地域部地域課

1 宮城県内の発生状況

令和6年中の山岳遭難は

- ・ 発生件数 21件（前年対比＋1件）
- ・ 遭難者 26人（前年対比＋4人）
 - うち死者・行方不明者 2人（前年対比＋1人）
 - 負傷者 10人（前年対比＋4人）
 - 無事救出 13人（前年対比－2人）

であった。

2 過去5年間における山岳遭難の特徴

(1) 月別

「10月」が32件で全体の約21.2%と最多で、次いで「5月」が27件で全体の17.9%を占めている。

(2) 年齢層別

遭難者のうち60歳以上が111人と全体の65.3%を占め、その中でも70歳代が46人と全体の27.1%を占め最多となった。

(3) 山域・山系別の発生状況

山域・山系別にみると、最も多いのが「船形連峰」37件で、次いで「二口山塊」で19件であった。

(4) 目的・態様別

○ 目的別にみると「登山等」が91件で全体の60.3%と最も多く、次いで「山菜・茸採り」が42件で全体の27.8%を占めている。

○ 山域・山系別の目的

- ・ 「登山等」の遭難は、「船形連峰」で29件と最も多く、次いで「蔵王連峰」18件、「二口山塊」15件で仙台市近郊や知名度の高い県内主要山系での発生傾向が高い。
- ・ 「山菜・茸採り」の遭難は、「その他」で35件と最も多く、低山（里山）での発生傾向が高い。

○ 山域・山系別の態様

- ・ 態様別では、「道迷い」が61件で全体の40.4%で最も多く、次いで「滑落・転落」が27件で全体の17.9%を占めている。
- ・ 態様別を山域・山系別に分けると、「船形連峰」での「道迷い」が13件と最も多く、次いで「船形連峰」での「転倒」が10件であった。

「山域・山系別」の詳細

「栗駒山系」～栗駒山、虚空蔵山等

「鬼首」～荒雄岳、禿岳等

「船形連峰」～船形山、白髪山、泉ヶ岳、大倉山等

「二口山塊」～大東岳、面白山、神室岳等

「蔵王連峰」～熊野岳、刈田岳、烏帽子岳、屏風岳、不忘山等

「その他」～阿武隈山地、その他里山、山林内等

表 1 山岳遭難発生件数・遭難者数

表 1－1 発生件数・遭難者数

	発生件数 (件)	遭難者数 (人)	遭難者数 (人)			
			死 者	行方不明者	負傷者	無事救出
令和 6 年	21	26	2	1	10	13
令和 5 年	20	22	1	0	6	15
令和 4 年	30	33	2	1	15	15
令和 3 年	42	44	6	1	19	18
令和 2 年	38	45	7	0	9	29
合 計	151	170	18	3	59	90

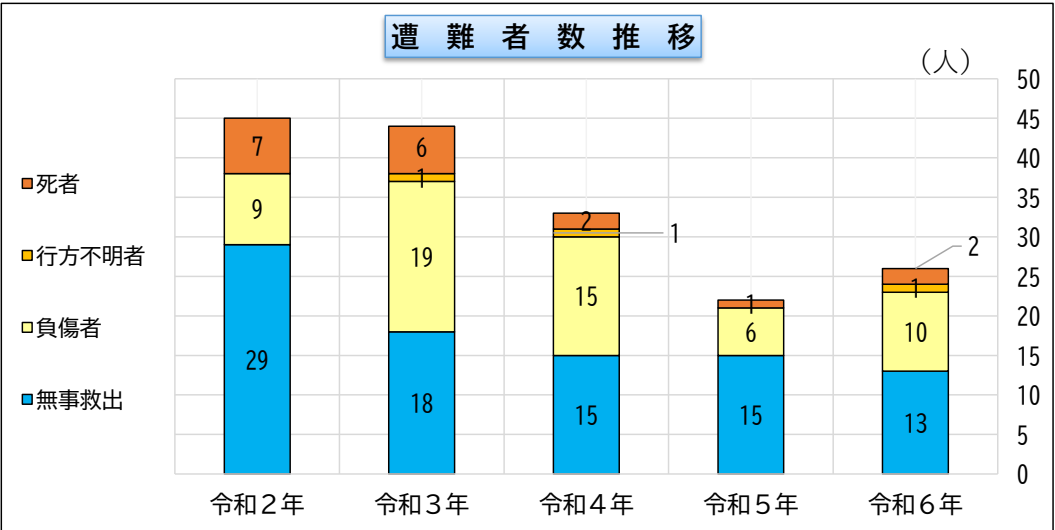
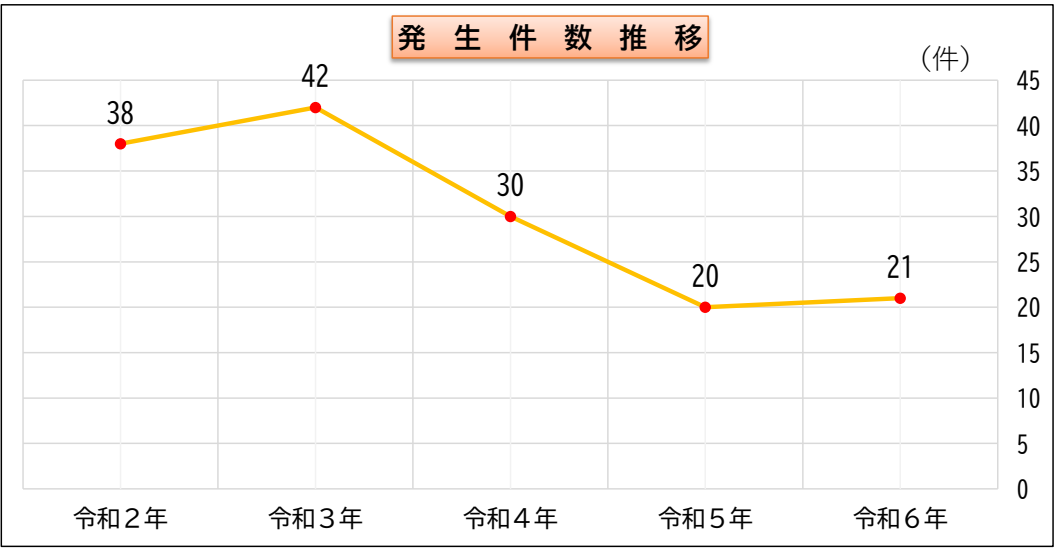


表1－2 月別

(件)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和6年	1	1	1	1	1	4	2	2	0	5	3	0	21
令和5年	1	3	0	1	1	0	2	2	2	5	1	2	20
令和4年	3	0	2	2	6	4	3	0	8	1	1	0	30
令和3年	1	1	2	4	6	6	3	3	1	12	2	1	42
令和2年	0	2	0	1	13	2	1	6	1	9	3	0	38
合 計	6	7	5	9	27	16	11	13	12	32	10	3	151
平 均	1.2	1.4	1.0	1.8	5.4	3.2	2.2	2.6	2.4	6.4	2.0	0.6	30.2

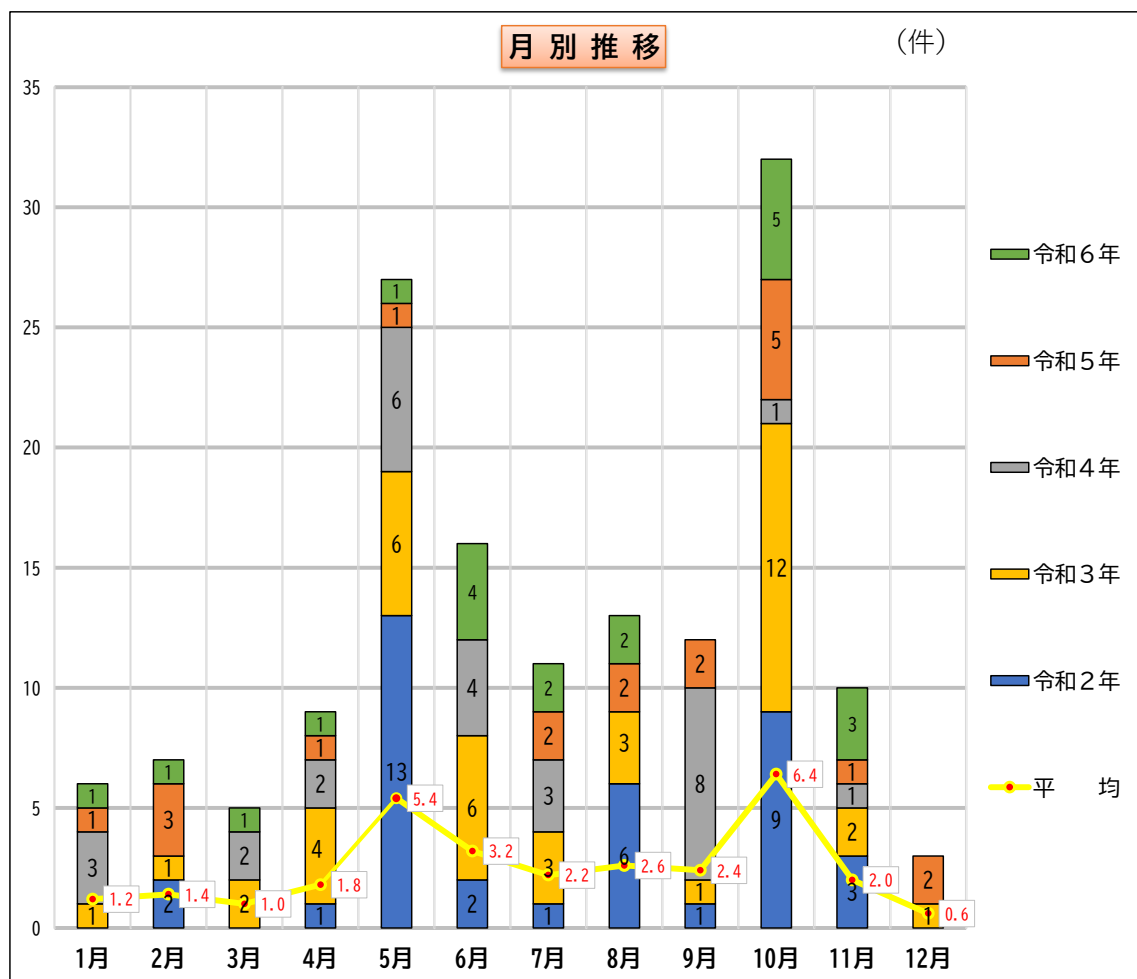


表1-3 年齢層別

(人)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
令和6年	0	0	0	4	4	10	4	4	26
令和5年	2	3	2	3	1	2	6	3	22
令和4年	2	0	1	3	5	10	9	3	33
令和3年	4	2	3	2	3	11	12	7	44
令和2年	3	4	4	1	3	7	15	8	45
合 計	11	9	10	13	16	40	46	25	170
平 均	2.2	1.8	2.0	2.6	3.2	8.0	9.2	5.0	34.0

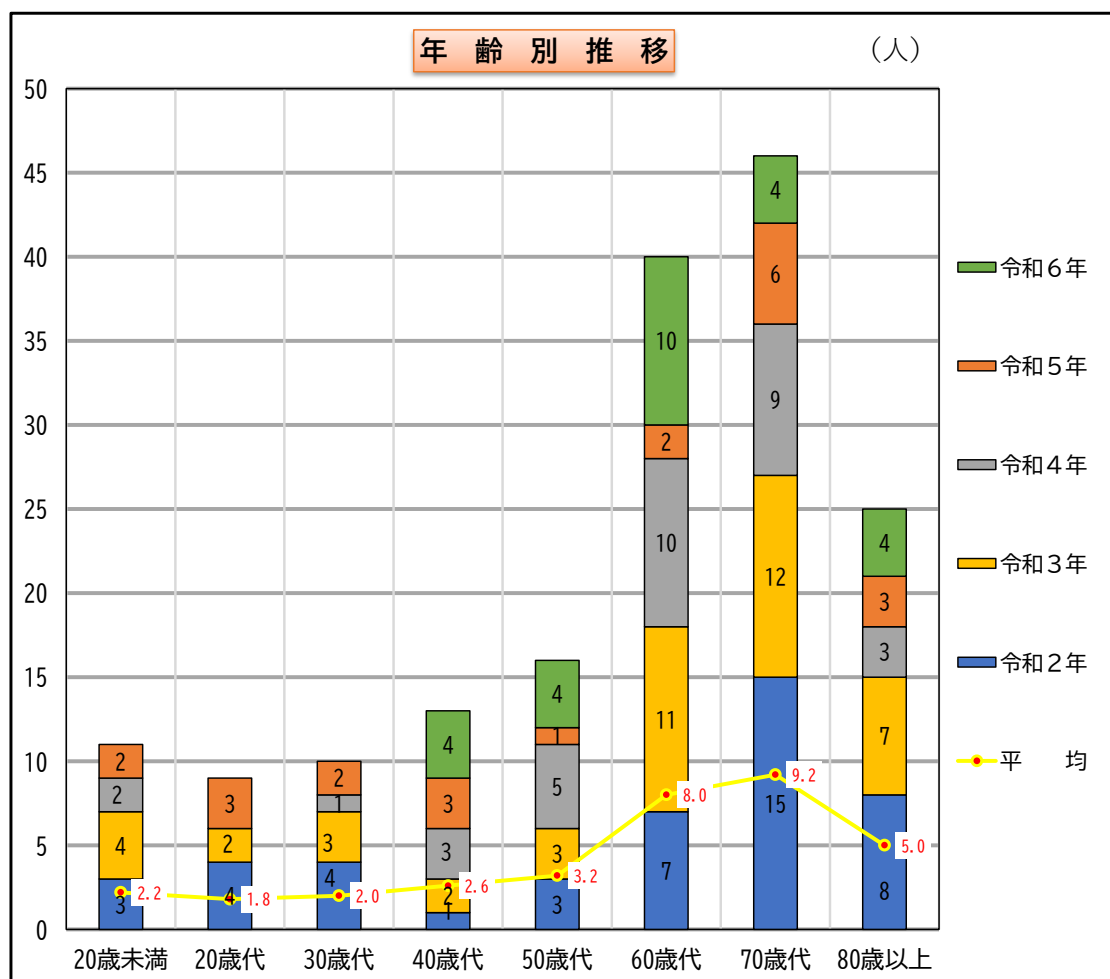


表2 山域・山系別

表2－1 発生件数・遭難者数等（令和2年～令和6年）

	発生件数 (件)	遭難者数（人）				
			死 者	行方不明者	負傷者	無事救出
栗駒山系	13	16	0	1	5	10
鬼首周辺	3	5	0	0	1	4
船形連峰	37	40	3	2	15	20
二口山塊	19	20	1	0	13	6
蔵王連峰	18	19	3	0	6	10
そ の 他	61	70	11	0	19	40
合 計	151	170	18	3	59	90

【令和2年～令和6年】

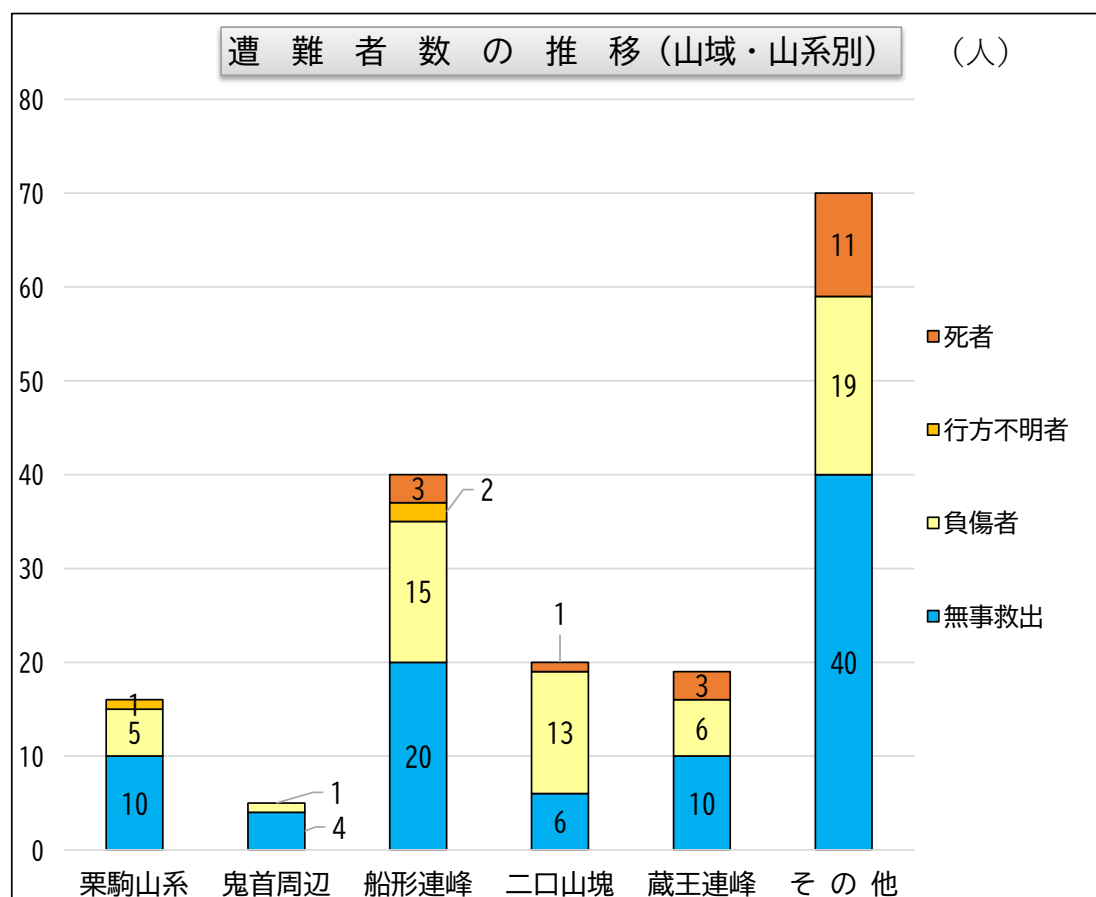


表2-2 目的別（令和2年～令和6年）

（件）

	登山等	山菜・茸取り	その他	計
栗駒山系	13	0	0	13
鬼首周辺	1	1	1	3
船形連峰	29	5	3	37
二口山塊	15	1	3	19
蔵王連峰	18	0	0	18
そ の 他	15	35	11	61
合 計	91	42	18	151

※ 「登山等」には、ハイキングや沢登り、岩登りも含む

【令和2年～令和6年】

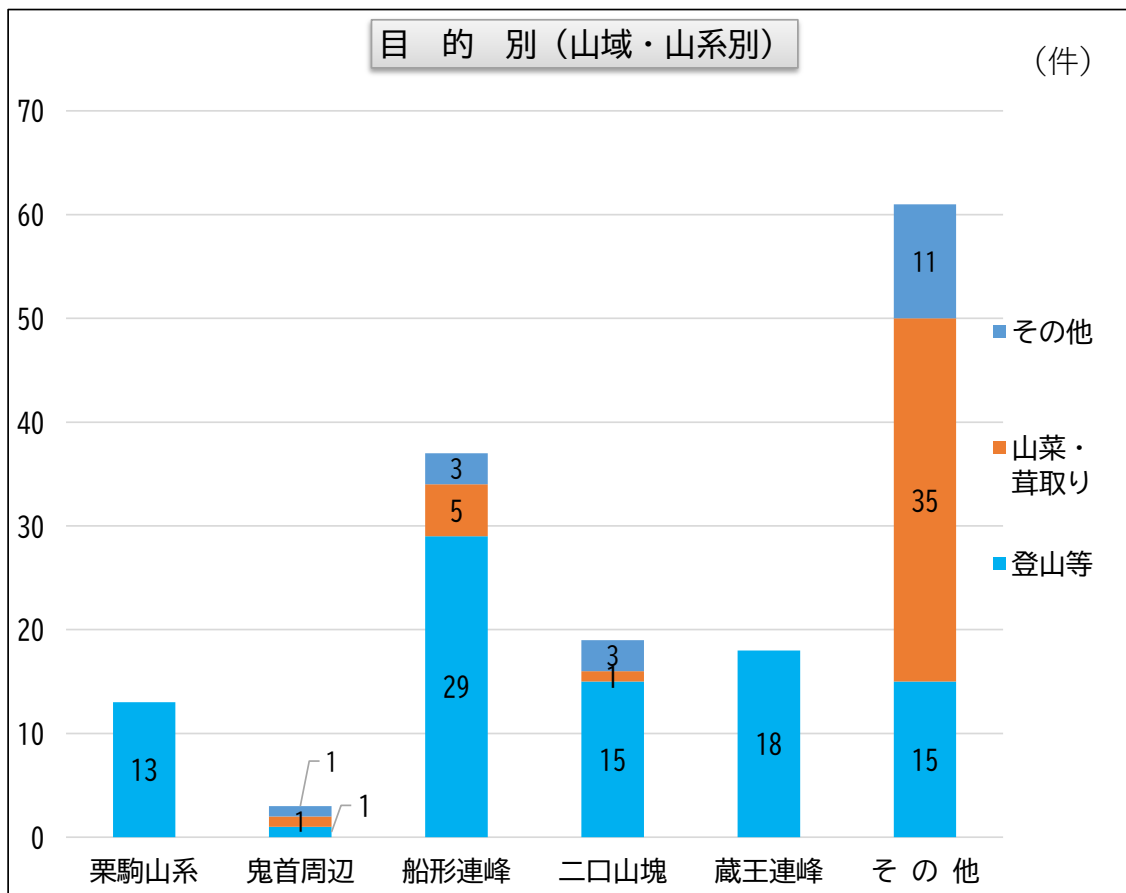


表２－３ 態様別（令和２年～令和６年）

（件）

	道迷い	滑落・転落	転倒	病気・疲労	その他	計
栗駒山系	6	0	4	1	2	13
鬼首周辺	1	1	0	0	1	3
船形連峰	13	5	10	5	4	37
二口山塊	3	7	4	4	1	19
蔵王連峰	4	4	2	5	3	18
そ の 他	34	10	5	6	6	61
合 計	61	27	25	21	17	151

【令和２年～令和６年】

